

「ひと、つながる。墨田区シティプロモーション戦略」(案) に対する
パブリック・コメントの実施結果

1 パブリック・コメントの実施概要及び結果

(1) 公表資料

「ひと、つながる。墨田区シティプロモーション戦略」(案)

(2) 意見募集期間

令和8年4月2日(木) から同年5月1日(金) まで

(3) 意見募集の周知及び公表方法

ア 実施の周知

- ・ 区のお知らせ 令和8年4月11日号
- ・ 区公式ウェブサイト 令和8年4月2日(木) から同年5月1日(金) まで
- ・ 区公式SNS (LINE・X・フェイスブック)

イ 公表資料の閲覧方法

- ・ 区公式ウェブサイト
- ・ 企画経営室広報広聴担当窓口

(4) 意見提出方法

郵送、ファックス、電子メール、電子申請 (Logo フォーム) 又は持参

(5) 意見提出先

企画経営室広報広聴担当

(6) 意見募集の結果

意見者数：11人、意見数：13件

2 パブリック・コメントの意見等の概要と区の考え方

NO	意見等の概要	区の考え方
1	P.9~10の円グラフの%表示の面積が、正確性に欠けているのでは。	ご指摘ありがとうございます。 円グラフは縮尺の関係でわかりにくく見えてしまう状況となっていたため、わかりやすいグラフに修正していきます。
2	全体的にとっても簡潔でわかりやすい中、P.10のタイトルが「進捗管理」のところ、いきなり行政的表現でわかりにくいなと感じました。	ご指摘ありがとうございます。 P.10の上のグラフ3つが定量評価であることから、タイトルを「評価の方法」とし、「数値では測ることができない定性的な評価も大切にしてい」ことを示していきます。

3	全体的に活字を減らして、イラストや図を活用して、読みやすく、区を目指す方向性・実現したい姿がイメージできました。	ご意見ありがとうございます。 墨田区シティプロモーション戦略に掲げるまちの実現に向けて、取り組んでいきます。
4	木寺元さんや江川紹子さんのような外部の目の評価もあり大切に思います。	
5	区の価値を高める良い施策だと思いました。とくに数値目標は分かりやすい。	
6	「すごく、分かりやすい」と思います。ここにいたるまで、たくさんの議論があったと思いますので、携わった皆さまお疲れさまです。	
7	私たちの日々の活動にも「地域との連携」というミッションがあるので、シティプロモーション戦略の取組や成果を活かしていきたい。	
8	人と人とのネットワークづくりや、人の生の声を聞くことの大切さは、我々も同じだと再認識した。	
9	「プロモーション」というと区民からすると何か遠いものという受け止め方をされるかもしれないですが、戦略が重要視している「地域内のつながりを強くすること」、「いろんな区の情報とアクセスしやすい」という取組は、暮らしやすいまちづくりにつながっていくと思う。	ご意見ありがとうございます。 墨田区シティプロモーション戦略の特徴である「地域のコミュニケーションの土壌を培う活動」について、しっかりと地域の声に耳を傾けながら、求められている情報を発信し、区民一人ひとりと想いを共有できるよう取り組んでまいります。
10	区内の様々なエリアで活動しているたくさんの新たな人たちと交流が深まってきており、つながりの毛細血管がどんどん増えているとともに、さらには太くなってきたと実感しています。	
11	「シティプロモーションが区民の人たちの役に立つのか」、「区の職員にとって意味があることなのか」という視点で拝見しました。シティプロモーションというテーマは、福祉・保健・産業振興・観光振興といった取組と比較して形にしづらいのではないかと思います。「コミュニケーションを活発にすること」を目的にしたことで、区民にとっても、職員にとっても意味を見出せていると感じます。	

12	<p>高1の娘と二人暮らしのひとり親です。墨田区にはひとり親のつながりが少なく、つながる機会がありません。世田谷区、品川区などひとり親のイベントが多く、社会福祉協議会などのひとり親団体も活発です。ぜひ交流の場を作って頂き、つながって、孤立しないようにして頂きたいです。</p> <p>ひとり親は孤立しやすく閉鎖的な環境が問題につながっているとも思います。ひとり親のNPOなどでボランティアもしていますが、墨田区のすてきな立地を生かしたイベントとか出来ないですかね。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>個別の事業等に対するご意見・ご要望としてお伺いいたしました。</p> <p>いただいたご意見は関係部署に共有しまして、墨田区シティプロモーション戦略に掲げるまちの実現に向けて、取り組んでいきます。</p>
13	<p>墨田区の健康増進および地域活性化の観点から、スーパー銭湯（スパ施設）の整備について検討をお願いしたいです。</p> <p>近年、共働き世帯や子育て世帯の増加により、手軽にリフレッシュできる場所や、親子で安心して利用できる施設のニーズが高まっています。スーパー銭湯は入浴による健康促進だけでなく、地域住民の交流の場としても機能し、孤立防止やコミュニティ形成にも寄与すると考えます。また、災害時には入浴・休憩機能を備えた施設として防災拠点の一部として活用できる可能性もあり、平時・非常時の両面で有益です。</p> <p>区内には大型のスパ施設が限られているため、空き地や再開発エリアなどを活用し、民間企業と連携した整備をぜひご検討いただければ幸いです。</p>	